

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体					
防災に関する情報発信事業					中保健センター					
事業目的			事業内容			活動指標		R3	R4	R5
中区地域計画における「地域防災力の向上」をめざし、次のことに取り組む。 ○災害時、子どものいのちを守るために、子育て世代が備えるべき物品、知っておいてほしい知識、家族で取り組んでほしい内容、感染症の予防などを市民に周知し、防災への意識を高める。			○4か月児健診にて、防災ブックを配付、防災について啓発する。 ○乳幼児健診会場に実際の防災グッズを揃え、展示を行う。 ○子育てサークル・サロン、地域のイベント、保健センター事業等において、防災ブックの配布・配架、パネル、グッズの展示を行う。 ○区民フェスタにて、子どもを守る防災コーナーを設置し、クイズ形式で市民参加型の啓発を行った。			啓発回数		4か月児健診（個別配付）、すべての健診会場でパネルとグッズ展示を実施、妊娠届出面接時（個別配付）	4か月児健診（個別配付）、区民フェスタ（個別配布）、すべての健診会場でパネルとグッズ展示を実施、妊娠届出面接時（個別配付）	4か月児健診（個別配付）、区民フェスタ（個別配付）、すべての健診会場でパネルとグッズ展示を実施、妊娠届出面接時（個別配付）
						冊子およびクリアファイル配布数		冊子 949冊 クリアファイル 865枚	冊子 1128冊 クリアファイル 735枚	冊子 1056冊 クリアファイル 736枚
①妥当性			②協働の視点			③インパクト		④効率性		
○	防災情報などを記載した冊子を配付することにより、区民の日頃からの防災意識の向上、ひいては防災等の被害の減少につなげることができる。地域に情報発信を行うことで、その情報を受けた区民からさらに情報が伝達され、より多くの区民に防災情報を伝えることができる。		○	区内の学校、サークル等と連携することで、防災に取り組む必要性が認識されている。		◎	4か月児健診時に、パンフレットを配付し、健診会場にパネルや防災グッズ展示で啓発を行うことで、防災の情報発信はもちろん、保健センターの取組を知ってもらうこともできた。		○	妊娠届出面接時にクリアファイル、4か月児健診時に冊子を全員に配付、パネルやグッズを展示することで、より多くの区民に、防災について考えてもらうきっかけになった。区民フェスタで市民参加型の防災イベントを実施し、292人の参加があった。
⑤自立発展性			総合評価							
△	地域に幅広く情報発信をし、特に子育て世代に対して防災意識を高め、正確な情報を伝えることを目的としているため、行政が主となって行うことが妥当な事業である。		◎	子育て世帯が集まる場所を利用して、パネル展示や防災グッズ展示などに力を入れた。区民フェスタでは、市民が参加できるような取組にすることで、集客も多く啓発することができた。						
今後の方向性（課題、改善提案等）										
拡充 継続 見直し 廃止	4か月児健診での啓発、パンフレットの配付は継続的に行い、すべての乳幼児健診会場でパネルや防災グッズ展示を実施する。また、区役所1階ロビーにもパンフレットの配架を行い、啓発の機会としていく。									